

ODBCガイド

対象データベース すべてのSQL型のデータベースがターゲットになります。
但し、ILI総研で確認しているDBは下記になります。

ILI総研で検証済みデータベース

- ◆Access ACCDB MDB
- ◆SQLserver
- ◆SQLServer Express
- ◆Oracle
- ◆PostgreSQL

上記以外例えばDB2、MySQL 等もお客様で動作している事例がたくさんございます。

上記以外のDBの場合お問合せください。

ODBCの設定方法

1. ユーザーDSN の設定方法
2. ファイルDSN の設定方法
3. STSETODBC を使う

1. ユーザーDSN の設定方法

① ODBCデータアドミニストレータを選択します。

● Windows 10 の場合

[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [ODBCデータソース(32ビット)] または [ODBCデータソース(64ビット)] を選択します。

◇Excel 64bit の場合 : ODBCデータソース(64ビット)

◇Excel 32bit の場合 : ODBCデータソース(32ビット)

● Windows 8 の場合

デスクトップ画面の左下にマウス移動 → 右クリックをして[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [ODBCデータソース(32ビット)] または [ODBCデータソース(64ビット)] を選択します。

◇Excel 64bit の場合 : ODBCデータソース(64ビット)

◇Excel 32bit の場合 : ODBCデータソース(32ビット)

● Windows 7 64bit の場合

◇Excel 64bit の場合

[Windowsスタートボタン] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [データソース(ODBC)] を選択します。

◇Excel 32bit の場合

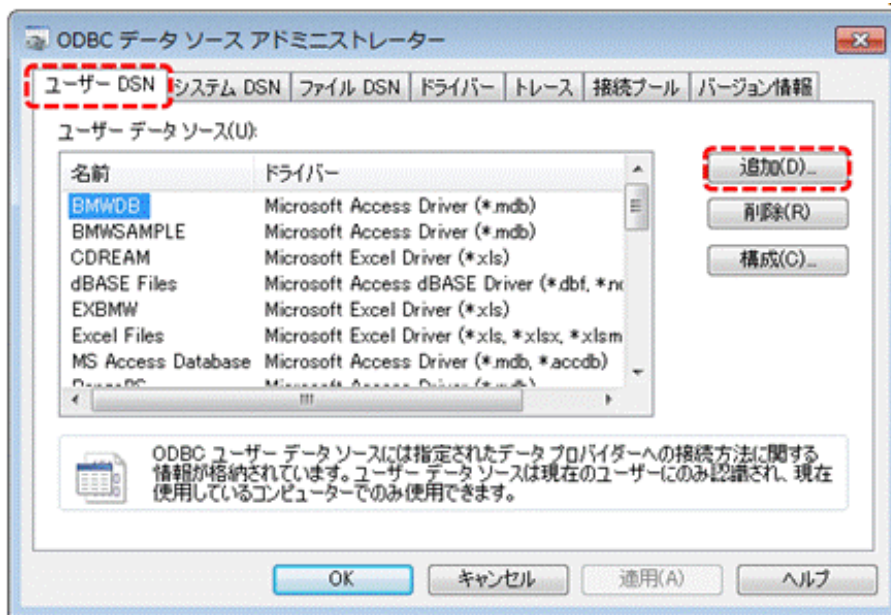
エクスプローラー等で C:¥Windows¥Syswow64¥odbcad32.exe ファイルを実行します。

● Windows 7 32bitの場合

[Windowsスタートボタン] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [データソース(ODBC)] を選択します。

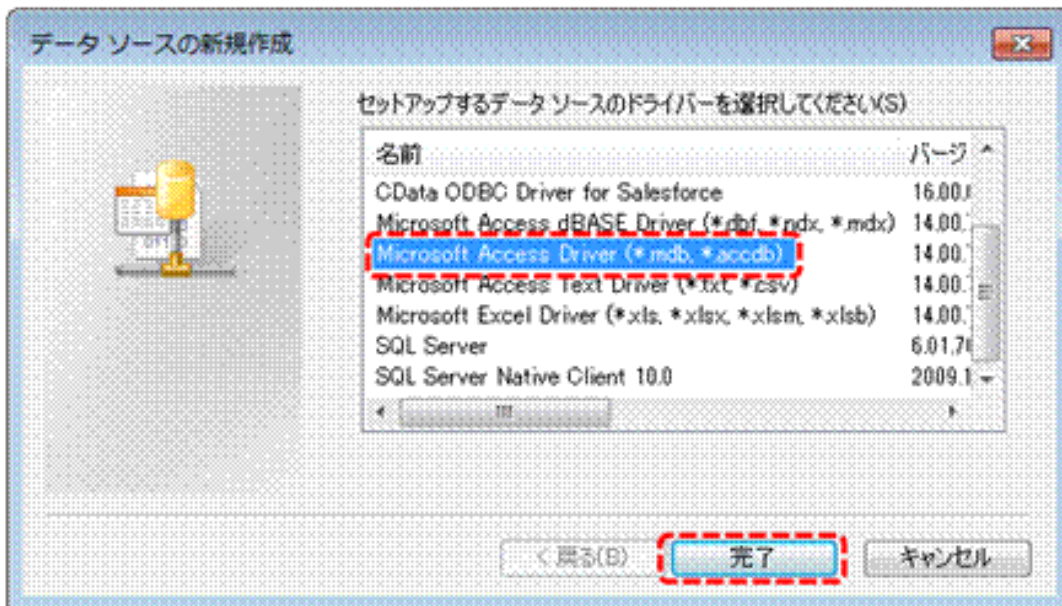
② [ODBCデータソースアドミニストレータ] → [ユーザー DSN] → [追加] を選択します。

※ 既存のODBCの設定を変更したい場合は、変更したいデータソースを選択して [構成] を選択すると⑥の画面に移動しますので、そこで変更を行なって下さい。

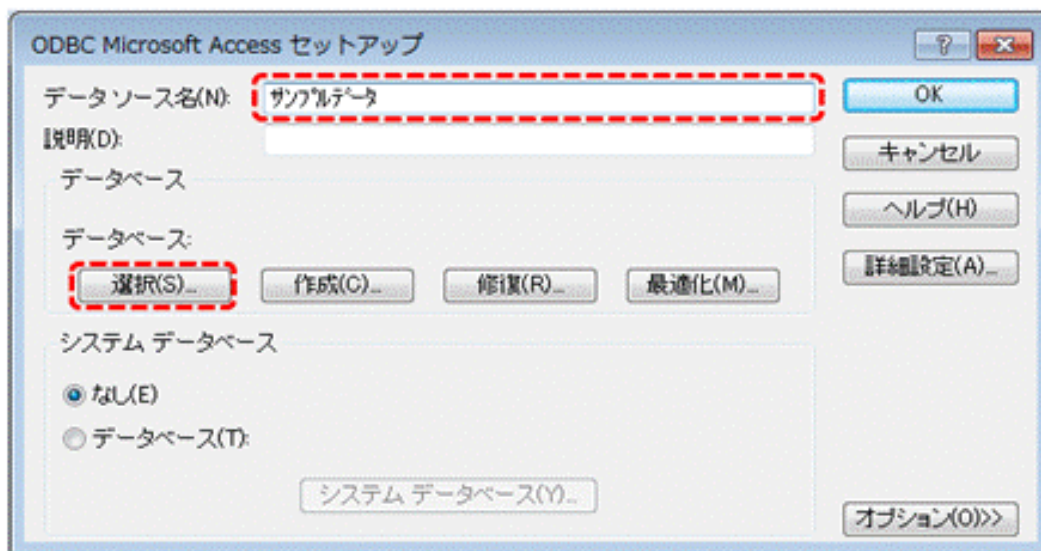


③ Access の設定を行なう場合 [Microsoft Access Driver (*.mdb,*.accdb)] を選択して、[完了] します。

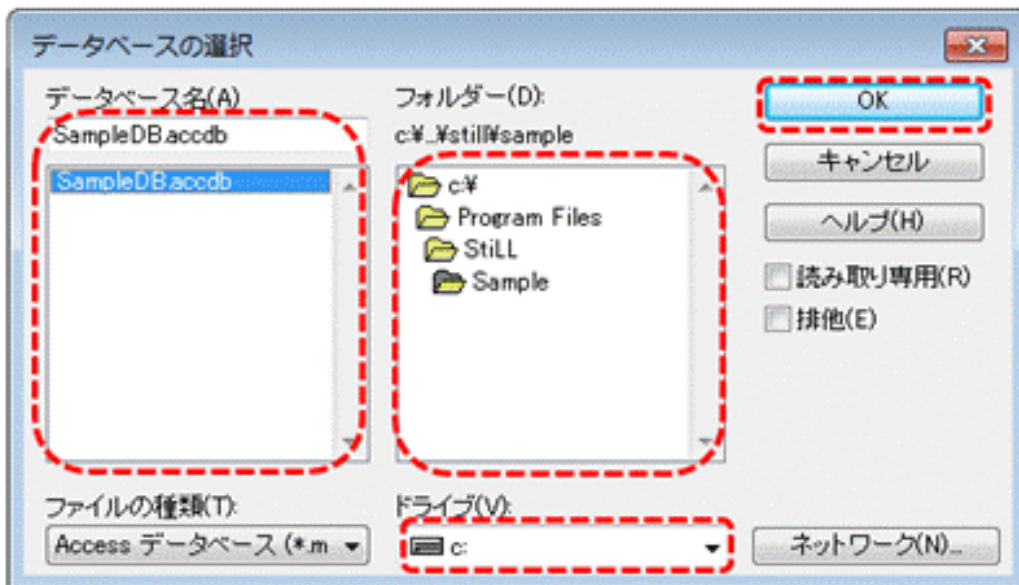
※ 他のデータベースを使用する場合は、ここで該当するドライバを選択して下さい。他のデータベースの場合④～⑥の画面が変わります。



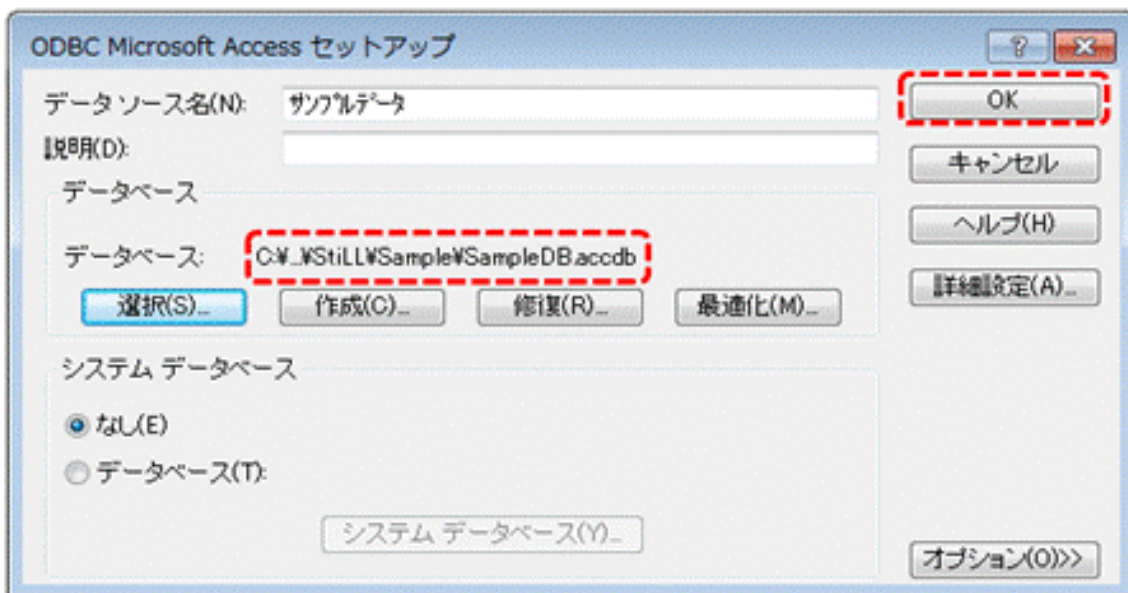
- ④ [データソース名] を入力し、[データベース] の [選択] を選択します。



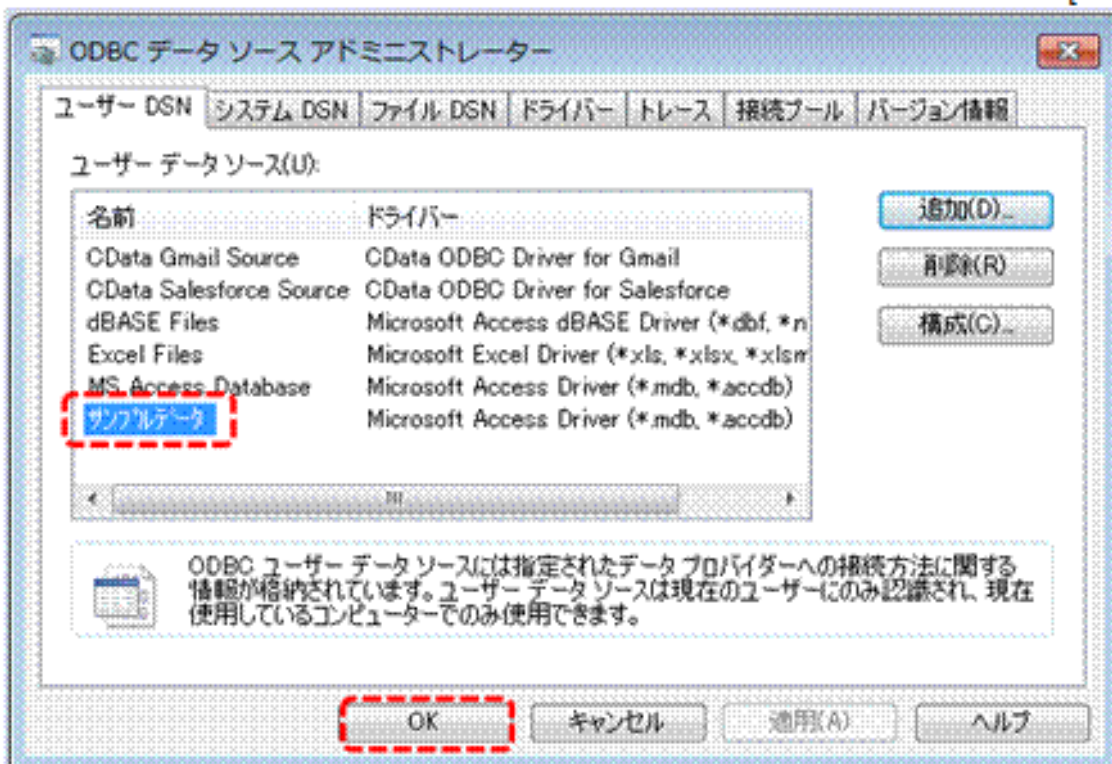
- ⑤ [データベース] の場所を指定し、[OK] します。



⑥ データベースの場所が指定できました。[OK] します。



⑦ ユーザーデータソースの一覧の中に設定したデータソースがあることを確認して、[OK] すると完了です。



2. ファイルDSN の設定方法

※ファイルDSN は、セルリンクボタンでのみ使用可能です。
Stillボタンでは使用することはできませんので、ご注意ください。

① ODBCデータアドミニストレータを選択します。

● Windows 10 の場合

[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [ODBCデータソース(32ビット)] または [ODBCデータソース(64ビット)] を選択します。

◇Excel 64bitの場合 : ODBCデータソース(64ビット)

◇Excel 32bitの場合 : ODBCデータソース(32ビット)

● Windows 8 の場合

デスクトップ画面の左下にマウス移動 → 右クリックをして[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [ODBCデータソース(32ビット)] または [ODBCデータソース(64ビット)] を選択します。

◇Excel 64bitの場合 : ODBCデータソース(64ビット)

◇Excel 32bitの場合 : ODBCデータソース(32ビット)

● Windows 7 64bit の場合

◇Excel 64bitの場合

[Windowsスタートボタン] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [データソース(ODBC)] を選択します。

◇Excel 32bitの場合

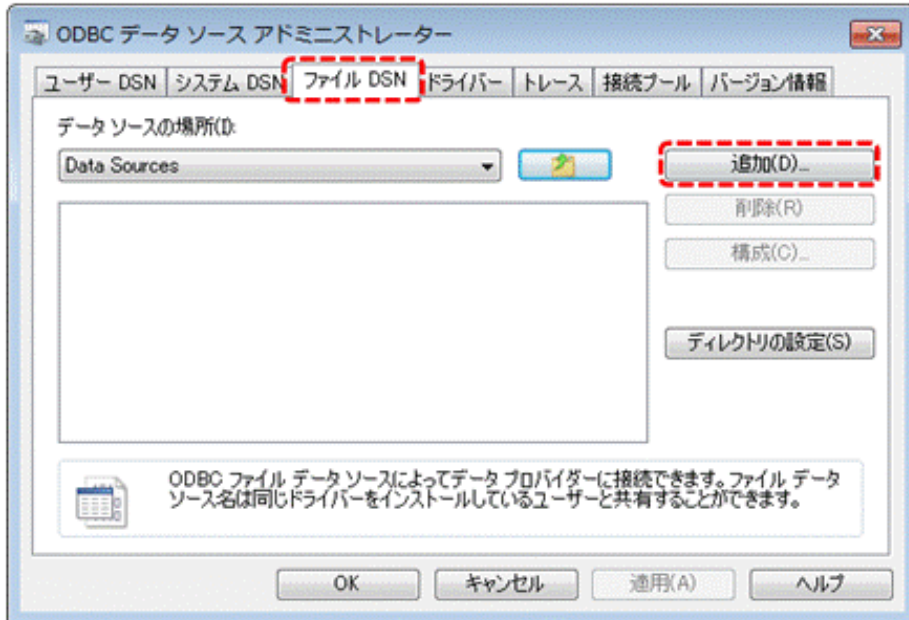
エクスプローラー等で C:\Windows\System32\odbcad32.exe ファイルを実行します。

● Windows 7 32bitの場合

[Windowsスタートボタン] → [コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [管理ツール] → [データソース(ODBC)] を選択します。

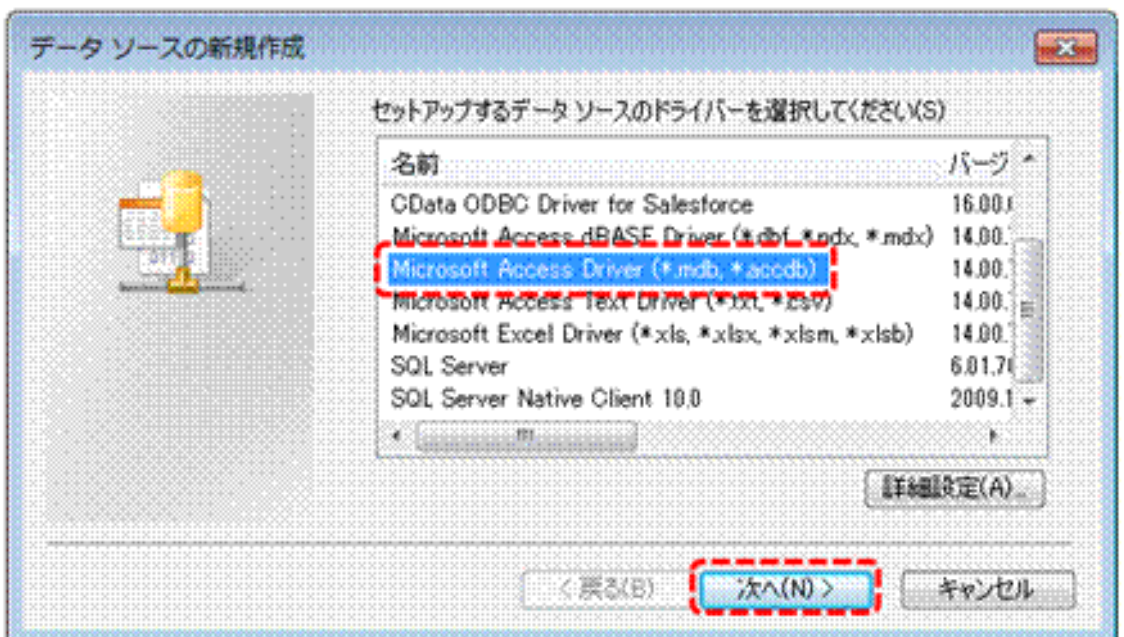
② [ODBCデータソースアドミニストレータ]-[ファイルDSN]にて[追加]を選択します。

※ 既存のODBCの設定を変更したい場合は、変更したいデータソースを選択して[構成]を選択すると⑩の画面に移動しますので、そこで変更を行なって下さい。

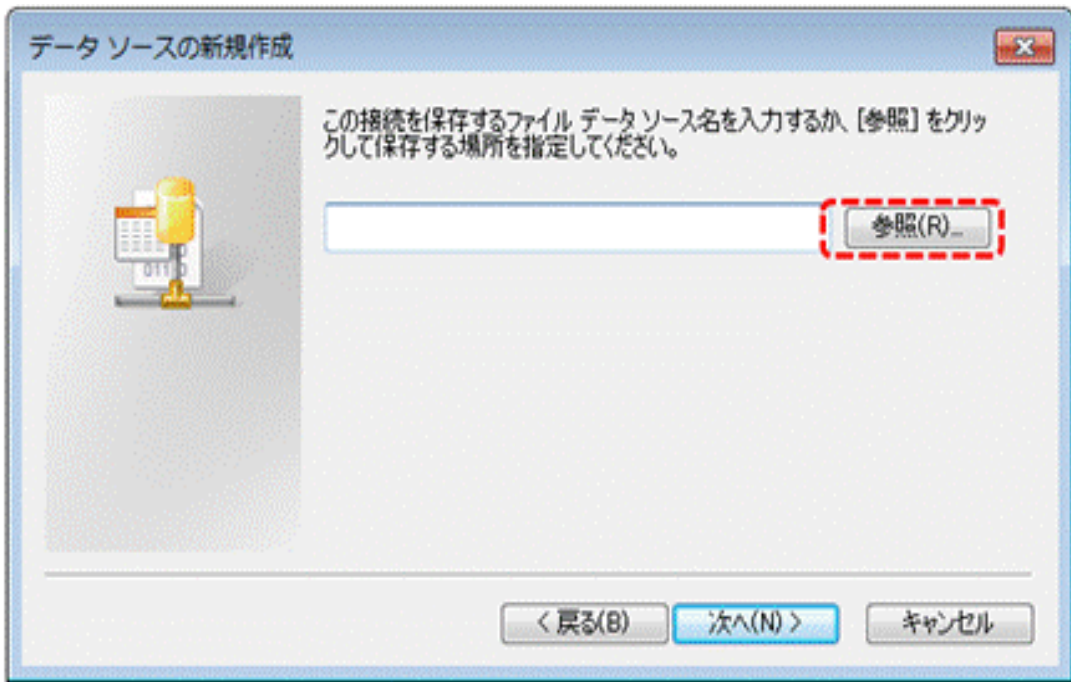


③ Access の設定を行なう場合 [Microsoft Access Driver (*.mdb,*.accdb)] を選択して、[次へ]をクリックします。

※ 他のデータベースを使用する場合は、ここで該当するドライバを選択して下さい。
他のデータベースの場合 ⑧～⑩の画面が変わります。



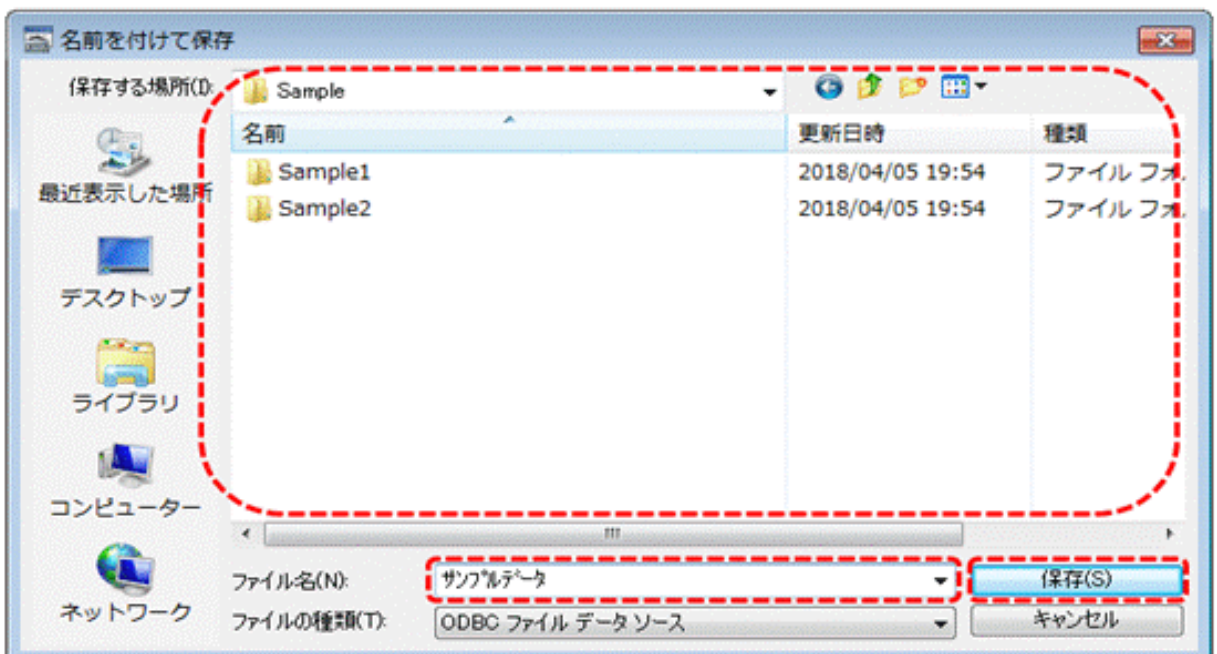
④ [参照] を選択します。



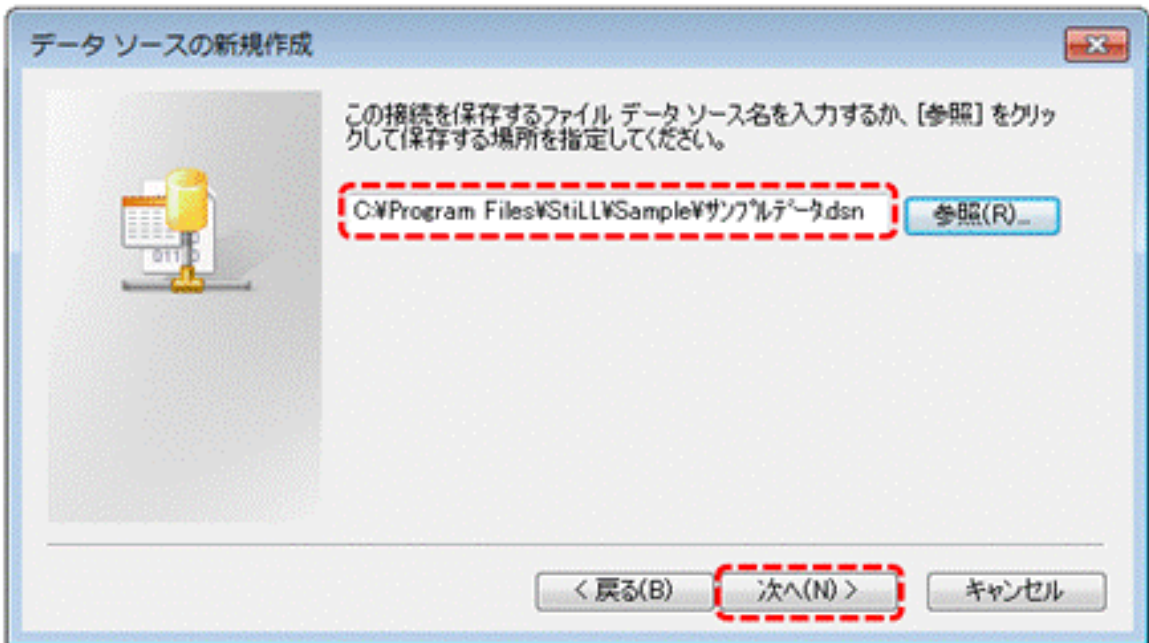
⑤ 既存のファイルデータソース(拡張子が dsn のファイル)を使用する場合は、そのファイルを選択します。

新規に作成する場合は、
ファイルデータソースを作成したいフォルダに移動し、
ファイル名を入力します。

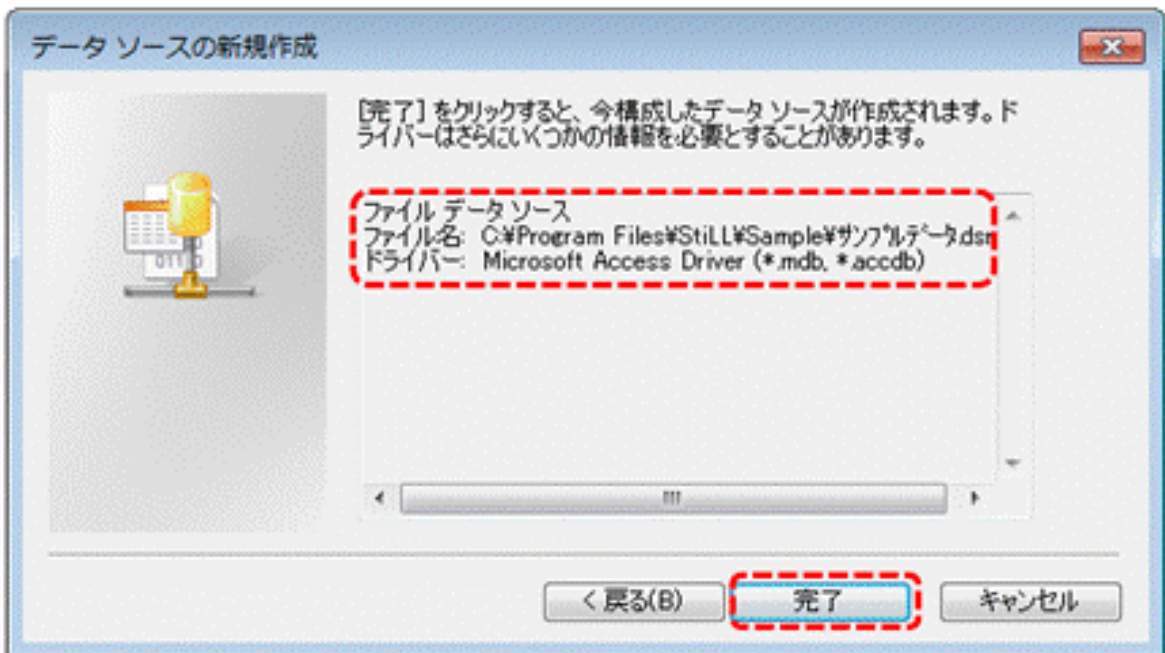
ファイル名の指定ができましたら、[保存] を選択します。



- ⑥ ファイルデータソースの場所が指定できました。
[次へ] をクリックします。



- ⑦ ファイルデータソースが作成されました。
[完了] をクリックします。



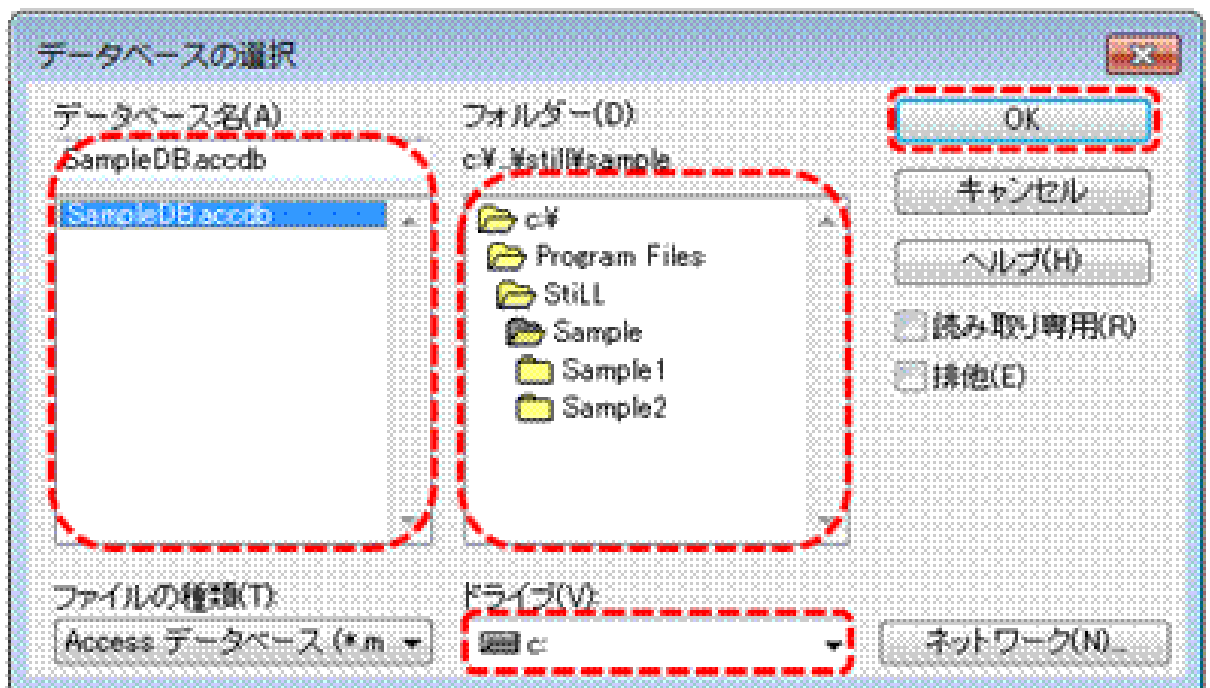
⑧ 作成したファイルデータソースで使用するデータベースを選択する画面に移動します。

[データベース] の [選択] を選択します。

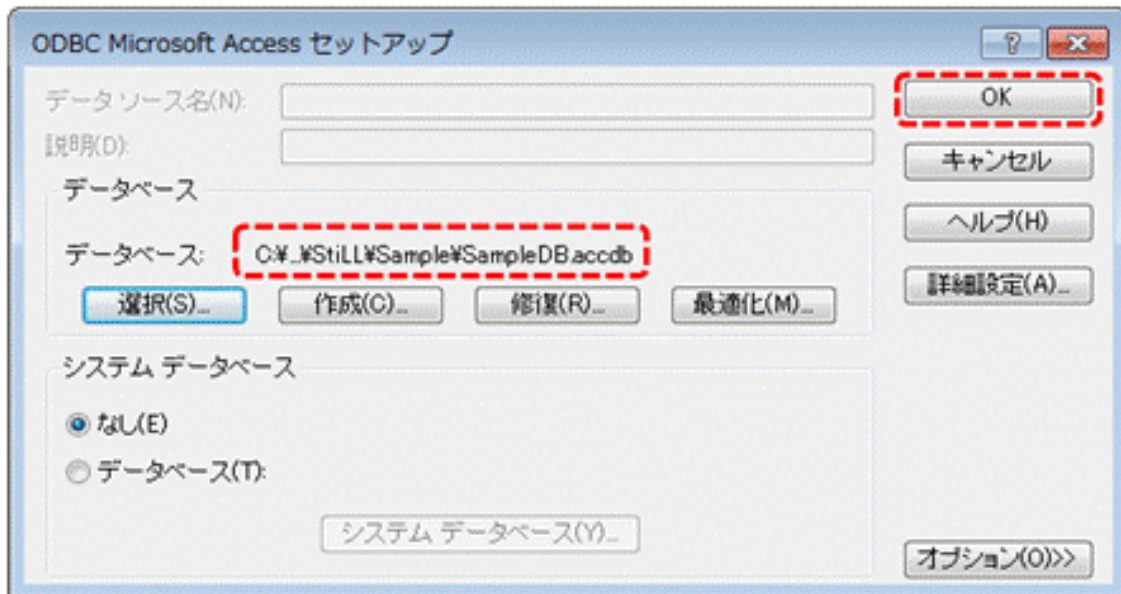
※ [データソース名] は、ファイルデータソースの名前になりますので、ここでは指定できません。



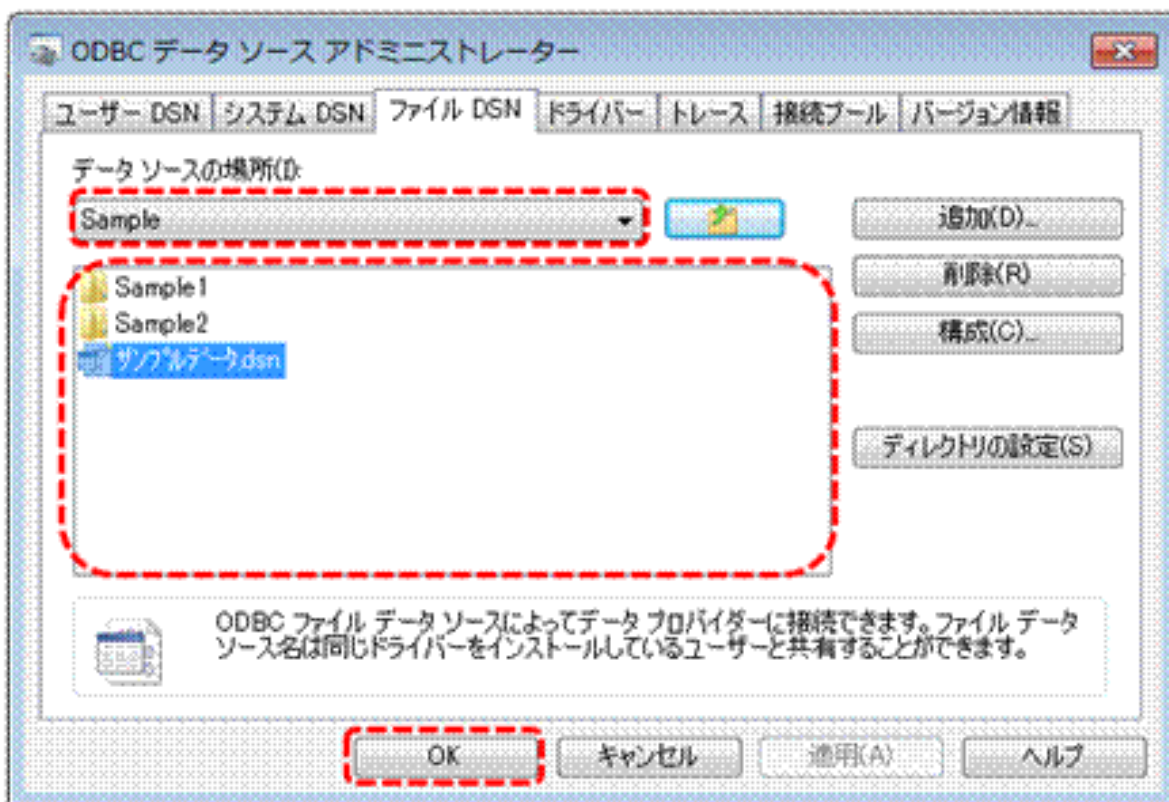
⑨ [データベース] の場所を指定し、[OK] します。



- ⑩ データベースの場所が指定できました。[OK] します。



- ⑪ ファイルDSNの中に設定したデータソースがあることを確認して、[OK] すると完了です。



3. STSETODBC を使う

StiLLヘルプから
ガイドをご確認ください。

StiLL のオプションプログラム STSETODBC.exe (Developers, Professional 版のみ) を使用すると、
上記のような手操作をせずに ODBC を設定できます。

STSETODBC.exe は、作成したシステムの稼動時や、
複数台の PC に ODBC 設定する必要があるとき等に役立ちます。